

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 06010050

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	7	介護保険事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7	高齢者支援の充実	事業優先度	B		
単位施策	2	生活支援の充実	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	特定高齢者把握事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	6	地域包括支援センター	
事業主体	雄武町		関係課	2	財務企画課	
事業指標	把握率		関係個別計画名	#N/A		
事業目標	把握率100%		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	有	介護予防、自立支援に向けた努力義務	関係例規・法令名	有 介護保険法		
住民協働			関係個別計画名	有 介護保険事業会計		

		全 体 計 画 事 業 内 容	平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	要介護・要支援に移行する恐れのある虚弱な高齢者を早期発見し自立した生活の継続を目指す	65歳以上の被保険者で要介護・要支援認定を受けていない方は3年に一度はチェックリストにて介護になる恐れのスリーニングを受けることが必要。	要介護・要支援に移行する恐れのある高齢者を早期発見し自立した生活の継続を目指す	要介護・要支援に移行する恐れのある高齢者を早期発見し自立した生活の継続を目指す	要介護・要支援に移行する恐れのある高齢者を早期発見し自立した生活の継続を目指す	要介護・要支援に移行する恐れのある高齢者を早期発見し自立した生活の継続を目指す	要介護・要支援に移行する恐れのある高齢者を早期発見し自立した生活の継続を目指す
	前年未返送者及び新たに65歳を迎えた町民へチェックリストを郵送配布を行う。		平成26年度介護保険事業計画策定ニーズ調査時及び訪問等によるチェックリストを実施する。	前年未返送者及び新たに65歳を迎えた町民へチェックリストを郵送配布を行う。	前年未返送者及び新たに65歳を迎えた町民へチェックリストを郵送配布を行う。	平成26年度ニーズ調査時チェックリスト実施者及び新たに65歳を迎えた町民へのチェックリスト配布	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	5,600	1,000	1,300	1,000	1,000	1,300
	財源内訳						
	国庫支出金	1,400	250	325	250	250	325
	道支出金	699	125	162	125	125	162
	地方債	0					
その他	2,325	415	540	415	415	540	
一般財源	1,176	210	273	210	210	273	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,874	814	1,060	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	468	203	265			
	道支出金	234	102	132			
	地方債	0					
その他	778	338	440				
一般財源	394	171	223				
関 連 事 項	特定財源の名称 介護保険地域支援事業 国25% 道12.5% 町12.5% 2号被保険者29% 1号被保険者21%	【評価・実績】	(実施内容等) 昨年ニーズ調査未回答者197人 新たに65歳の方91人にチェックリストを送付し、93人の回答を得た	(実施内容等) ・計画策定ニーズ調査時の チェックリスト実施分 741人 ・訪問での調査実施数 15人 計756人	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
			※事務事業評価結果 A-継続/内容の見直し・変更	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		年度達成率	81%	82%	0%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	15%	33%	33%	33%	33%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	特定高齢者把握事業	評価者	管理職 職氏名	地域包括支援センター長	豊田 通敏
		評価者	作成者 職氏名	在宅支援係長	佐々木 希美枝

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	65歳以上の町民(要介護、要支援認定者を除く)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説) ① H26~28年度の3か年で基本チェックリストの回答把握率を100%とする目標としており、H26年度は70%を目標とした。 ②	基本チェックリストの回答把握率	
【抱える課題やニーズは】	加齢や病気に伴い生活に支障がでる恐れがある。		目標年度	平成26年度
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	高齢者の介護予防、生活の質の向上が図られる。		目標値	70%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	要介護者の増加防止、介護給付費の増加防止が図られる。		実績値	53.6%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	基本チェックリストの実施	介護保険事業計画等策定ニーズ調査時に基本チェックリストを加えて実施した。	達成度	76.6%
	実態把握訪問	ニーズ調査未回答者は訪問時にチェックリストを実施した。	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	介護保険法に基づき、介護予防事業対象者の把握は市町村に義務ある。
必要/概ね必要/課題あり		全部	
		一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	本年度はニーズ調査の一環として実施したため回答把握数が多くなった。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	ニーズ調査と同時に実施することで、事業費や作業軽減を図った。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	65歳以上被保険者を対象に公平に調査・チェックリストを実施した。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

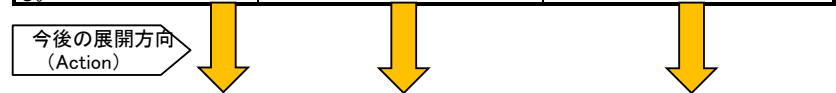
■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
本年度は3か年で回答把握率を100%とする初年度として70%の把握を指標とし、ほぼ計画のとおり進んだが、ニーズ調査未回答者への訪問等による把握率が低率であったため改善が必要である。		



継続/現状維持		
介護予防事業対象者の把握は今後も継続し、要介護者の増加防止に努めることが重要である。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止